



議会だより

6月定例会号

令和元年7月26日発行

No.147

こみ



6月議会 一第2回定例会一

こんなことが決まりました

②

議案質疑

⑤

一般質問

⑥

委員会からの要望・編集後記

⑫

児童館行事・パパママカンガルー広場
わらべうた遊び

きかせて みんなの夢

みなさんの未来に寄り添うために

こんなことが決まりました

令和元年度 一般会計補正予算（第1号） 賛成多数で可決

8,291万円を追加補正 総額38億2,291万円

【歳出の主なもの】

●新規地域おこし協力隊の経費計上	300万円
●単身者雇用住宅関連工事費追加計上	230万円
●単身者雇用住宅付近空家取壊し	100万円
●UIJターン就業支援補助金新規計上	200万円
●森林環境譲与税基金積立新規計上	640万円
●国：プレミアム付商品券関連事業新規計上	3,000万円
●畑総小海原追加計上	200万円
●森林組合トレーラ導入補助新規計上	1,000万円
●温泉揚湯ポンプ修繕分追加計上	248万円
●土木費地区要望追加計上	777万円
●川久保八那池線改良工事電柱移設補償新規計上	800万円

【財源の主なもの】

●地方交付税	4,294万円
●国庫支出金（国：プレミアム付商品券補助金等）	965万円
●県支出金（UIJターン就職支援事業補助金）	150万円
●諸収入（国：商品券販売収入等）	2,320万円
●町債（過疎対策事業債）	1,000万円

30年度 一般会計補正予算（第6号） 全員賛成で承認

3,657万円を追加補正 総額41億9,194万円

【歳出の主なもの】

- 30年度事業の精算が主なものです。

【財源の主なもの】

●地方交付税	2,985万円
--------	---------

30年度 特別会計補正予算 全員賛成で承認

国民健康保険事業特別会計	2,825万円減額補正	総額 5億5,845万円
介護保険事業特別会計	1,300万円減額補正	総額 6億4,316万円
後期高齢者医療特別会計	43万円減額補正	総額 7,274万円

令和元年小海町議会第2回定例会が6月4日から20日まで17日間の会期で開催されました。承認5件、条例等改正案5件、補正予算案1件、陳情7件、追加議案として発議4件、契約議決1件の合計23件について審議が行われ、陳情2件が不採択となり、その他の案件はすべて承認・可決・採択されました。

一般質問は、6名の議員により行われ、町の考えをただしました。

6月議会 第2回定例会で

条例改正等

◆小海町税条例等の一部を改正する条例
 地方税法等の一部を改正する法律が4月1日施行となっており、これにより小海町税条例等の一部を改正するものです。

全員賛成で承認

◆小海町積立金条例の一部を改正する条例
 森林環境税の創設に伴い森林環境譲与税が譲与されますが、森林管理システムの運用経費等にあてるため、積立金条例を整備するものです。

全員賛成で可決

◆小海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 令和元年度の国民健康保険税について、課税限度額の引き上げと保険税の5割軽減及び2割軽減世帯の基準額の判定の見直しを行うものです。

全員賛成で可決

◆小海町介護保険条例の一部を改正する条例
 令和元年10月1日に予定されている消費税及び地方消費税の引き上げへの対応として、低所得者の介護保険料をより軽減する措置を講ずる等のため、小海町介護保険条例の一部を改正するものです。

全員賛成で可決

◆小海町給水条例の一部を改正する条例
 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う、小海町給水条例の一部を改正するものです。

全員賛成で可決

◆小海町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例
 消防団員の定数を現在の人員にあわせ、2人減の172人とするものです。

全員賛成で可決

陳情

●辺野古新基地建設の即時中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
 陳情者
 「新しい提案」実行委員会
 安里 長従

●全国青年司法書士協議会
 会長 半田 久之
 賛成多数で採択し、衆参両議長、閣僚大臣に意見書を提出しました。

●義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書
 陳情者 小海中学校教職員組合
 内藤 芳典
 全員賛成で採択し、衆参両議長、閣僚大臣に意見書を提出しました。

●国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書
 陳情者 小海中学校教職員組合
 内藤 芳典
 全員賛成で採択し、衆参両議長、閣僚大臣に意見書を提出しました。



6月議会 第2回定例会で こんなことが決まりました

陳情

● トレーラ導入に関する補助金の陳情書

陳情者

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫

全員賛成で採択

● 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者 一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム

理事長 仲村 覚

不採択

● 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情書

陳情者 宜野湾市民の安全な生活を守る会

会長 平安座唯雄

みなし不採択（注1）

（注1）同一会期中に本陳情と相反する陳情が先に採択されたため、議決することなく不採択とみなして処理する取扱いのこと。

議員発議

● 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

第2回定例会で審議された議案

（○は賛成 ×は反対）

(議員氏名) (議案名等)	古谷 恒晴	渡辺 均	井出 幸実	井上 一郎	小池 捨吉	有坂 辰六	篠原 伸男	篠原 義従	的埜美香子	井出 薫	新津 孝徳	鷹野 弥洲年
議案第20号「令和元年度小海町一般会計補正予算（第1号）」の修正案について	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
議案第20号「令和元年度小海町一般会計補正予算（第1号）」の原案について	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	
辺野古新基地建設の即時中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情書	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	議長職
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情書	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	
議案第21号建設工事請負契約の締結について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案質疑

平成30年度一般会計補正予算(第6号)関係

Q 雑入の造林事業補助金返還金とは？

A 平成25年に間伐を行い、間伐をしたところは5年間は切ることができないという取り決めになっていたところを5年経たずに皆伐したことによる森林組合からの返還金です。

Q 非常勤消防費の消防の工事請負費、第4分団の車庫修繕費の皆減とは？

A これは第4分団荻谷班の消防団の車庫です。車庫をお借りしている地権者さんとの調整がうまくいかなかったということと対応が遅れてしまったこともあり、来年度以降検討してまいります。

Q 新規採用の地域おこし協力隊の仕事は？

A 移住・定住にかかわること、広報等の編集作業、移動販売車のラッピングデザインなどをお願いする予定です。

Q U-Jターンとは？

A 東京圏、愛知県、大阪府から来る移住者に対し補助要綱を作って補助する制度です。中央に集中している人口を地方移住促進する目的で行う事業です。

Q 単身者雇用住宅付近の空家取り壊しについて、個人の財産を壊すのに税金を使ってやるのか？

A 景観上、防犯上の問題と地元要望ということで今回に限ってお願いしたいと思います。

Q 国のプレミアム商品券販売について？

A 対象者は子育て世帯、3歳未満のお子さんがいる家庭と低所得者世帯で対象者は1,100人の見込みです。1人あたり2万円まで買えるというもので商工会のプレミアム商品券を活用させていただきま



Q 町営住宅解体事業移転費用補助の移転先はどこか、また5万円の根拠は？

A それぞれ別の町営住宅に転居されます。また5万円の補助については従前の事業と同様の移転補助の費用です。

Q 小学校へ導入する電子黒板とは？

A 本体、スタンド、電子教科書を入れるパソコン、書画カメラがセットになっています。電子教科書を使えば授業でわからなくなつた時、前の学年の教科書まで遡り学習することができます。

Q トレーラ購入補助について。今まで森林組合に補助はあったのか。また、町の森林整備計画は？

A 森林組合へ機械購入の補助金は平成11年にありました。また、町の森林整備計画は作成済みで、それに沿つた事業運営をしていきます。森林組合へもこれに基づいた森林整備等を願っています。

問 起債が基金を上回るのは、郡内で小海だけ。財政は大丈夫か

答 町長 町民が、安心して楽しく暮らせる財政を目指している



渡辺 均議員

問 起債と基金の差をみると、小海は9億円の赤字、町民一人当たり68万円。他の郡内5町村は全て黒字です。これをどう考えるか。

町長 起債の約7割が交付税措置されています。差し引くと財源は21億円ほどあるので、町民に負担を掛けることは無いと考えます。

問 国も大きな借金を抱えている。町も交付税に頼らない、自立を目指す財政運営が必要ではないか、方法は歳入を増やし、歳出を抑える政策で、

長期振興計画に、これをどう取り込むか。

町長 長振は今から作ります。目標値も近々に発表できるかと思えます。

総務課長 9月議会に中間報告を予定しています。

問 自主財源の調達力が弱くなっている。町民税を支える町内で働く人が人口比では小海53%、川上70%、南牧64%である。就労者を増やすこと、固定資産税は南相木村を見ても判るがダムが重要な財源で

ある。小水力発電に、大手企業の出資を仰ぎ、固定資産税を高める政策を進められないか。

町長 小海原で発電のエキスパートが売電事業を始め、2千数百万円の固定資産税が入る予定です。

問 財源確保に向けた新しい産業誘致政策を長振に盛り込む、その一例として利回りの高い小水力発電事業の取り込みを提案したが、いかがか。

町長 様々な提案が持ち込まれています。全部に応えることは難しいかと思えます。

問 歳出の見直しで、例えばスケートセンターは町民一人あたり1万5千円ほどとなり、町税に占める割合は13%に及んでいる。運営方法を町単独から国や県との連携で広域市町村での運営に移行したらどうか。

総務課長 過去にも同じ話が

ありましたが、子ども達に夢を持った活動をしてもらうためにも単独でもやるべきと考えます。

問 既存の町営事業はアンケートなどで町民の声を聞き、それを長振に反映させるべきではないか。

町長 町民の声が多数を占めても、それが正解であるかの見極めは難しい。アンケート実施等は大切なことですが、責任ある判断を議会と一緒に行いたいと思います。



松原湖高原スケートセンターでスケート遊びを楽しむ子ども達

問 小海トンネル内の通路は 安心 安全な通学道路か

答 産業建設課長 課題については検討したい。



小池 捨吉 議員

問 通学路の安全について最近、テレビ、新聞等で痛ましい交通事故が報道されています。次世代を担う子供達がこのような悲惨な目に遭わない為に安全の確保が重要と考えます。小海トンネルについて基本的な事をお伺いします。トンネルの財産はどこを持ち物ですか。

産業建設課長 小海トンネルは町道ですので、町の管理です。

問 維持管理は町で行い、県より移管されたという解釈で

いいですね。

産業建設課長 工事は県でやっていたら、町に移管された町道です。

問 トンネルの電気料金は全て町で支払っているということですね。

産業建設課長 電気料金は全て町で支払っています。

問 トンネルの利用者は大半が小学生だと思います。生活道路としてトンネル内の照明は何ルクスを考えておりますか。

か。

産業建設課長 照度についてはトンネル法により、設計時に計算された照度となっております。歩道の蛍光灯は通学時間に合わせタイマーで管理しています。今年度法定点検を行う中で検討してまいります。

問 トンネル内のガードレールについて、高速道路の歩道と違い小海トンネルでは車道との段差が25cmしかない。また安全柵は簡易なもので人が歩道から車道に出ないだけの柵であり、車が歩道に乗り上げてくることは考えていない状況です。強度なガードレールの設置を望むところですが。

産業建設課長 トンネルの構造上、コンクリートが上から下まで巻かれている型で地下ケーブルがある可能性もありガードレールの設置ができるか

調査が必要かと思えます。今後、対応を検討させていただきます。

問 東馬流橋と本間川橋前後は照明があるが信号機付近は暗く感じます。信号待ちしている人の確認が困難な時もあります。信号機付近に街路灯1基の設置を検討していただきたい。

産業建設課長 国道については県の管理でありますので県に要望してまいります。



小海トンネル西側

問 9月1日（日）防災の日に 町全体で防災訓練は？

答 町長 規模を変えた防災訓練を前向きに実行します。



古谷 恒晴議員

問 この3年間で防災訓練が行われたのは3年前に土村で実施されたのが最終です。災害について危機感を持つように町民に啓蒙がされていないと思いますが、又、お年寄りの安否確認、隣組の助け合い等を高めるために、特に今年は9月1日防災の日が日曜日となりますので、町全体で防災訓練を行ったらいかがでしょうか？

町長 各地域で防災訓練というのですが、本間川地区については川の氾濫、他の地区についても山の崩壊、或いは

大水、火災などを想定し、9月1日を目標に集約して、又規模を変えた防災訓練を前向きに実行します。

問 9月1日という事になりますと、そろそろ動き出さないとと思いますが、具体的にどのような方向で考えていますか？

町民課長 避難訓練の実施を通じて情報の伝達、災害の特質知識を得ることが重要であるため、町全体の避難訓練、もう1つは講演会の開催を考えています。9月に向けて具

体的な方法を関係各位と共に計画を詰めていきます。

町長 小海町の災害箇所、危険箇所を一望し、計画があれば県でも国でも積極的に指導に来るので計画を立てていきたいと思っています。

問 金属探知機の使用状況がまだ1件もない事について

総務課長 危険、だと思われる部分については所有者宛に金属探知機の利用と、補強の場合には、住宅リフォームの対象になるので、補助金の利用も出来る案内を差し上げるといように今後は対応していくよう考えております。

問 大津市で幼稚園児が交差点での事故に巻き込まれ、歩道にいた二人が亡くなった件、その後その交差点にバリケードが設置されました。町道国道問わず、

町ではどの様に考えていますか。

町長 町道国道に対して積極的に安全対策に臨みたいと思っております。

産業建設課長 小海大橋、清流ふれあい橋、直売所前の交差点が危険と考えております。県の方にも現場を見て頂きたい要望を伝えてまいります。



安全柵のある「小海トンネル西交差点」

問 大洗町との友好姉妹都市提携の現状と課題は

答 町長 小学生の体験を中心に進めながら町をアピールしていく



新津 孝徳 議員

問 町は平成26年に茨城県の
大洗町と姉妹都市提携を結び
ました。大洗町は高い所で海
抜数十mといった平らな町で
太平洋に面しています。大洗
港より北海道とのフェリーの
往来があります。又、海水浴
場もあり小海町とは、山の町
と海の町といった感じですが、
今年5年目を迎えるにあたり
友好都市提携の目的を伺いま
す。

総務課長 友好姉妹都市協定
と一緒に災害対策支援協力を
定を結んでいます。交流から
は色々効果がありますので両

町にメリットのあるおつきあ
いにしたいと思えます。

問 友好協定を結んでいても
内容が伴わなければ価値があ
りません。常に状況判断をし
ながら進めることだと思いま
す。そこで過去4年間の実態
についてお聞かせください。

教育次長 30年度の小学生の
交流は、小海町から6年生34
名が参加し海水浴とライフセ
ービングの講習を受け、浜で
4mの砂山に登ったり、ボデ
イボードで荒波を乗り越える
貴重な体験をしました。水族

館でイルカショーの見学もし
ました。大洗町からは2月に
5・6年生23名が来町しワカ
サギ釣やスケートの体験をし
ました。美術館では雪上アー
トや星空観察会をし、厳しい
冬を体感しました。事業費と
しては訪問で58万円、受け入
れで17万円でした。おおよそ80
万、100万円で推移しています。
27、28年には熟年野球があり
16人が参加しました。現在は
この大会は中止となっております。

産業建設課長 11月に13万人
が来場する「あんこう祭」に
4年間参加し、町の観光や物
産のPRをしました。事業費
は280万円。小海町からは鞍掛
豆関係、まんじゅう、おやき
等の販売、大洗町からは健康
・福祉まつりのバザーでは焼
酎やシラス関係、加工直売所
ではサンマやイワシ干し、干
し芋等の特産品を販売しまし
た。

問 4年間の交流実績では始
まったばかりで進展について

はこれからといった感じがす
るが戦略的互恵関係を持つて
維持発展してほしいと思うが
町長の考えは。

町長 提携の先進地として勉
強になりました。高冷地とし
ての素晴らしさや高原野菜等
何を売りにするかを求め積極
的に交流してまいります。



大洗町交流事業（小海小学6年生が大洗町へ）

問 景観条例を設けるべきではないか

答 町長 町の中の検討も必要ではないかと考えております。



議員 美香子 的埜

松原湖周辺の景観維持と 観光について

問 音楽堂周辺がソーラーパネル設置等により、嘆きの声が寄せられている。今後、長湖周辺の活かし方をどのように考えているか。

町長 長湖周辺は小海町の宝だと私は認識しています。やはり景観というものは大変大切だと思えます。

問 長湖に限らず、松原湖周辺の観光のイメージをどう描くのか、統一的な見解を示し

ておく必要があるのではないか。

町長 法律、条例等々に基づいた中で進めていきたいと思っております。

問 一定のルールを定めなければ景観は維持できない。景観条例等を設けるべきではないか。

町長 皆さんの意見を拝聴しながら、特に松原湖周辺については国定公園内です。町中の検討も必要ではないかと考えております。

新規就農者支援について

問 以前から提案しているが、研修施設を各集落に作ってはどうか

総務課長 できれば、山間部の各集落にそういったものが1棟くらいずつできればその地域の活性化にもつながるので順次、来年度以降計画を立てた中で空家の利用という面で考えていきます。

問 農業を一から始めると、本当にお金がかかる。(町独自の)補助金制度の枠をもう少し広げるといふ考えは？

産業建設課長 ご提案いただきければ内部で検討し、農家の負担軽減につながればと感じています。

農業振興条例の制定を

問 農業の基幹産業としての位置づけ、農業の果たす役割重要性をしっかりと条例で明確にするべきではないか。

産業建設課長 農業は人間の生命を維持するために欠くことのできない食料を供給する産業であり、町の基幹産業であります。条例の整備に関しては今後、農業振興審議会等で検討してまいります。

的埜議員 担い手や生産量の維持、持続可能な環境保全型農業の推進といったことも盛り込めるような条例の制定を進めていただきたい。



問 町の子ども分の均等割は約190万円です。対策を

答 町長 ぜひまた案を賜り、相談をさせて頂きたいと思ひます。



井出 薫 議員

国民健康保険について

問 3月議会で「国保税は高い、協会けんぽの2倍ぐらいになる。均等割、平等割をなくせば保険料は大幅に引き下がり、協会けんぽ並みになる。加入する保険によって負担や給付に大きな格差があることは問題ではないか」という議論をしたが。

町長 国保運営協議会の中でいろいろ提案、忠告を頂き、現状維持という結論になったと思ひます。

子ども分の

均等割対策を

問 29年度国保税の滞納者が50人。そのうち所得200万円以下の人が44人、約88%。30年度が滞納者59人、その内50人・約87%の方が所得200万円以下です。低所得者にとって重い保険料です。

町では国保加入の子供が17人です。子ども分(均等割)が約190万円ほどです。国保加入者の重税部分を考えて頂きたい。

町長 ぜひまた案を賜り、相

談をさせて頂きたいと思ひます。

井出議員 30年度の決算見込みで当初より900万円以上も余りが出るという見通しです。前向きな対応を。

野良猫対策について

問 6月、9月、12月と各定例会で議論し、行政も対応をされてきていますが、その後の組みは。

町民課長 全国の自治体の取り組みについて調査研究をしておるところです。不妊や去勢手術の費用を公費で負担、マイクロチップの装着、繁殖管理を飼い主に求める条例制定などの例が見受けられます。県内でも、不妊、去勢手術をされた方を対象に助成している市町村もあります。引き続き調査研究し、助成金の創設等も検討していききたいと考えております。

飼い猫対策として補助を

問 各市町村の補助基準を見ると、飼い猫に対する補助なんです。考えてみると、野良猫はもともと飼い猫から生まれます。飼い猫対策としての不妊・去勢手術に補助を町としても研究してもらいたい。

町長 飼い主のモラルは非常に大切だと思います。飼い猫が根源ということになれば、不妊・去勢は比較的容易にできると思ひます。係と研究しまして予算がどの程度どうあればといった認識で対応を考えてまいります。



総務産業常任委員会からの要望

● 施業においては、皆伐のままにすることなく植林、育林をしっかりとし、森林の再生をしていく事を、森林組合等林業事業者に指導されたい。

○ 町長

植林、育林等につきまして、持続可能な森林計画を確保していくよう森林組合等、林業事業者はその指導をしてまいります。

予算決算常任委員会からの要望

● 予算を提出する際には、しっかりと調査研究されたい。

○ 町長

予算を提出する際にはしっかりと調査研究させていただきます。

● 林業事業者への支援強化をすると共に植栽等による造林事業を含め計画的な森林整備を進められたい。

○ 町長

林業従事者の支援については、こういった支援ができるかを検討してまいります。また、植林等による造林事業につきましては森林環境譲与税の有効活用を検討も含め小海町森林計画に沿って計画的に進めてまいります。

去る4月30日をもって議長を退任されました有坂辰六前議長へ南佐久郡町村議長会より感謝状が贈呈されました。



編集後記

平成の時代がこの4月に幕を閉じ、令和となり早くも2ヶ月が過ぎました。議会も令和と共に新しく改編され、私の個人的な事ではありますが議会運営委員として町の監査委員として、これからの後期2年間を務めさせて頂く事となりました。議長在任中は町民の皆さんには大変ご指導・ご高配を賜り、この欄をお借りし感謝申し上げます。

この議会、たよりが皆さんの家に届く頃には、梅雨も明け夏を迎えている事とかわれますが、昨年のような厳しい暑さとならないよう願うところであります。

これから2年間、新しいメンバーで皆さんに楽しく読んで頂きますよう紙面作りに取り組んでまいります。

(編集委員 有坂 辰六)

編集責任者	鷹野弥洲年
編集委員長	井出 薫
編集委員	有坂 辰六
編集委員	井上 一郎
編集委員	渡辺 均